

発行日：2015年8月21日
発行：町田市
編集：環境資源部3R推進課
住所：町田市下小山田町3160
町田リサイクル文化センター
電話：042-797-0530

ごみになるものを 作らない 燃やさない 埋め立てない

まちだ
ごみ情報紙

ごみナクナーレ

～あなたからはじまる40%ごみ減量～

ごみナクナーレの発行について

ごみの減量と資源化を楽しみながら取り組んでいただけるよう、市民や市民団体、事業者の取り組みを中心に
ごみに関する情報を分かりやすく伝えます。

小山白山公園で「あおぞら出前講座」を開催しました

町有町内会では定期的に地域の一斉清掃を行っています。5月24日(日)の一斉清掃後、小山白山公園にて「資源とごみの出前講座」を開催しました。当日は、燃やせるごみの袋を小さくする体験型のゲームや中身が見えるごみ収集車の「みえるくん」も登場し、参加者のみなさんにはごみ入れ体験をしていただきました。子どもからお年寄りまで幅広い世代の方が参加し、盛況のうちに終わりました。



ごみ袋のサイズダウンに挑戦



みなさん「みえるくん」に興味津々です



青空教室のように、公園での開催ということで楽しくイベント感覚で出来たのがよかった。また開催できたらと思います。

参加者の声

紙パックやお酒のパックの分別方法、リサイクル広場への持ち込みを知ることが出来てよかったです。

手軽に出前講座の開催が出来たのでとても良い取り組みだと思いました。

「資源とごみの出前講座」を開催してみませんか

市の職員がみなさまの地域にうかがい、資源とごみについてわかりやすく説明します。集会やイベントに合わせて、開催できます。お気軽にご利用ください。お申し込みは3R推進課まで♪

大型生ごみ処理機



相原町大戸地区10世帯で使っている生ごみ処理機。生ごみを入れると、機械の中で分解され、一次生成物(たい肥のもと)が取り出せます。一次生成物からできた生ごみたい肥をおうちの庭や畑の土に混ぜて使っています。

大型生ごみ処理機のたい肥を使って きれいなお花と立派なお野菜を育てています

たい肥を使っている八木さんのおはなし

生ごみを処理機に入れる時間は、人それぞれ。朝の人もいれば夕方の人もいて、いつでも入れることができ便利です。処理機を使うようになってから生ごみをごみ袋に入れることがなくなって、ほぼ資源化しています。

昨年に荒地を開拓した畑にたい肥を混ぜたらとても大きくて立派な里芋ができました。太くてやわらかいねぎも育っています。

たい肥を使った花壇では、市の花壇コンクールで努力賞をもらいました。



10世帯以上で使う生ごみ処理機を無償で借りられるよ。
詳しくは3R推進課に聞いてみてね。



※家庭用生ごみ処理機を購入したときは、費用の一部を補助する制度があります(購入金額の4分の3、上限2万円)。詳しくは3R推進課へお問い合わせください。



立派に育ったね。



長ねぎ



ダリア

